

「甲斐崇先生と学ぼう！」
 ★NIEは、Newspaper in Education
 (教育に新聞を)の略です

レッツ チャレンジ NIE

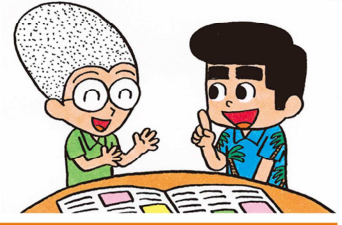


第 201 回

こんしゅう
 今週の
 だい
 お題

記事を読んで
 考えよう
 レベル★★★ (高学年)

みんな、修了式や卒業式は無事に終えた？ どんな春休みを過ごしているかな？ さて、今回の「レッチャレ」は世界の出来事から出題するよ。報道で目になっている子どもも多いはず。問題をよく読んで、自分なりの考えを書いてみてね。



- [1] コバルチュークさんはどの国の出身ですか。
 ()
- [2] コバルチュークさんが家族となかなか連絡が取れなくなったのはなぜですか。
 ()
- [3] [1] の国で実際に起きていることはどのようなことですか。記事から三つ探して書きましょう。
 ()
 ()
 ()
- [4] コバルチュークさんが訴えていることは何ですか。
 ()
- [5] あなたは今回の侵攻についてどう思いますか。考えを書いてみましょう。
 ()

戦争止まってほしい ウクライナ出身 コバルチュークさん訴え

【沖縄】ロシアによるウクライナ侵攻を受け、勉強会「ボイス・オブ・ウクライナ」が12日、沖縄市産業交流センターで開かれました。ウクライナ出身のアラ・コバルチュークさん(47)=沖縄市、写真中央=が登壇し「平和のために祈りたい。戦争が止まってほしい」と訴えました。オンラインでも配信され、約70人が参加しました。



コバルチュークさんはウクライナ南部で生まれ、結婚を機に2017年から沖縄で暮らしています。両親がウクライナにいて、弟はウクライナ軍の兵士だといいます。ロシアによる侵攻以来、家族となかなか連絡が取れませんでした。勉強会の前日に電話がつながった母親は「近くで砲撃の音が聞こえる」と泣いて話していたそうです。

コバルチュークさんは「病院に爆弾が落ち、原子力発電所が占領されている。現代にこんなことが起きるのか、信じられない。ウクライナは独裁者を望んでいない。ソビエト連邦の時代には戻りたくない」と訴えました。

【2022年3月17日(木) 琉球新報市町村面】

【1】は見出しで確認しよう。【2】は何が起きたからかな。1文目もヒントになるね。【3】はコバルチュークさん自身の発言や母親の電話での話を参考に一つずつ分けて書いてみよう。【4】は、いくつかあるコバルチュークさんの発言をまとめて説明してみよう。見出しも参考になるね。【5】は、記事やテレビの報道の事実をもとに、自分自身で考えて書いてみよう。みんなは今起きていることをどう思う？



✂️ 切り取ってノートに貼れるよ。挑戦してね！

かい・たかし
 NIEアドバイザー、西原町教育委員会指導主事